

## <材料化学システム工学討論会 2022> 報告書

幹事

引間悠太(京都大学)(文責)

伊與木健太(東京大学)

石飛宏和(群馬大学)

2022年9月26, 27日にZoomで材料化学システム工学討論会2022が開催された。詳細は下記の通りである。

講演者・ 講演題目	9月26日 13:10~14:40 【依頼講演】「炭素繊維が描く未来と炭素繊維の未来」 岐阜大学(正)入澤寿平氏 14:45~16:15 【反好会との交流企画・依頼講演】 「高密度に均質な触媒活性点を持つ炭素担持金属触媒の開発」 京都大学(正)藤墳大裕氏 16:25~17:05 【学生講演】「トーラス状アルギン酸微粒子の作製と薬物放出制御」 東京大学(学)松宮和生氏 17:10~17:50 【学生講演】「電場印加により集合的規則運動が誘起される コロイド配列体の光学特性制御」 東北大学(学)波形光氏 9月27日 9:00~10:30 【依頼講演】「実験/計算/データの協働による水電解用触媒開発の 高速化および結晶構造に基づく触媒設計論の確立」 東京工業大学(正)菅原勇貴氏 10:40~11:20 【学生講演】「様々な微細構造を有する出発原料を用いたゼオライトの 合成及び解析」 東京大学(学)佐田侑樹氏 11:25~12:05 【学生講演】「ゲート吸着材料を活用した新規吸着分離プロセスの構築」 京都大学(学)坂中勇太氏
会場	Zoom
聴講者数	50名(産2名,学48名)

(次のページに続く)

【集合写真】

## 材料化学システム工学討論会2022 集合写真



2022年9月26, 27日 Zoomにてオンライン開催

【備考】

2022年度もコロナ禍のために過去2年間に続いてオンライン開催となったが、2日間で一般講演者3名、学生講演者4名という、従来の日程・ボリュームにて実施された。参加者は50名となり、盛会となった。また昨年度に引き続き反好会(反応工学部会若手会)の交流企画を行い、京都大学の藤埴大裕氏にご講演をお願いした。本討論会の特徴である活発な討議は、対面開催の際と変わらず終始行われ、講演者からも深い議論ができたと大変好評であった。

2023年度の主幹事は東京大学の伊與木健太氏、副幹事は近畿大学の杉目恒志氏である。

以上